

令和 2 (2020)年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	白血病難治性の分子機構解明と新規治療法の開発
研究代表者	前田 高宏 (九州大学・大学院医学研究院・教授) ※令和 2 (2020)年 9 月末現在
研究期間	令和 2 (2020)年度～令和 6 (2024)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>【課題の概要】</p> <p>本研究は、難治性白血病に対する新規治療法の開発を目指して、研究代表者らが樹立したマウス AML、ALL 細胞株と独自の CRISPR/Cas9 ゲノムワイドスクリーニング系を用いて、現行のキードラッグの耐性機構の解明と並行して、新規併用療法のための標的分子(合成致死性分子)を同定し、同定分子の POC (Proof Of Concept) 取得と阻害剤の薬効評価を行う計画である。</p> <p>【学術的意義、期待される研究成果等】</p> <p>独自性のある CRISPR/Cas9 ゲノムワイドスクリーニング系を駆使して、難治性白血病の薬剤耐性機構を解明し、合成致死を狙った新規併用療法の標的分子の同定及び候補薬剤の薬効評価が進めば、新規治療法の開発につながるものと期待される。</p>